

ロード・トゥ・ルーベ (2008)

ROAD TO ROUBAIX

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー スポーツ

製作国 アメリカ

色彩 B&W/C

初公開日 2009/04/04

【解説】

自転車ロード競技、ワンデイ・レースの最高峰の一つ“パリ〜ルーベ”の魅力とその舞台裏に迫るスポーツ・ドキュメンタリー。ヨーロッパ各地で数多く開催されているワンデイ・レースの中でも格式と伝統が抜き出た数レースのみが憧れと尊敬を込めて“クラシック”と呼ばれている。そして、そのクラシック・レースの最高峰に位置するのがフランスのパリからルーベまでの約260kmを走る“パリ〜ルーベ”。1869年から続く歴史と格式で“クラシックの女王”と呼ばれる本大会だが、実は“北の地獄”という物騒な異名でも知られている。その理由は、コースの随所に設けられた未舗装の石畳区間“パヴェ”の存在による。マウンテンバイクでも困難な凸凹でスリッピーな路面をロードバイクで駆け抜けるという危険きわまりないこのコース設定が、レースを過酷でスリリングなものにしている。本作は2007年のレースを中心に、選手や関係者のインタビューを交え、パリ〜ルーベが一流選手達を惹きつけてやまないその魅力の真髄を説き明かしていく。

【クレジット】

監督 デイヴ・クーパー Dave Cooper

デヴィッド・ディール David Deal